

知行合一

「學びて思わざれば則ち罔く、思ふて學ばざれば則ち殆し。」(論語百選P13)は、「学んだことを自分の考えに落としななければ、身に付くことはありません。また、自分で考えるだけで人から学ぼうとしなければ、考えが凝り固まってしまい危険です。」

学校教育目標

潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校

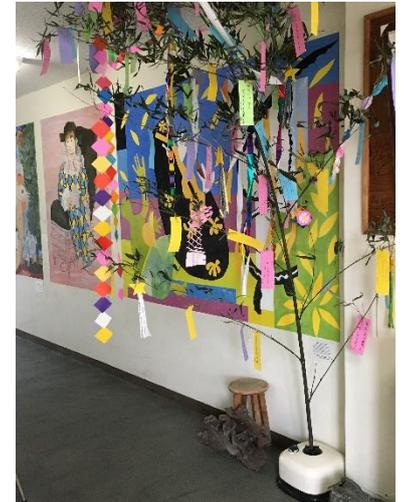
学校だより 第5号

令和2年7月3日

文責 校長 沖田 龍藏

保護者の支えや地域の方の応援によって、学校は日常を取り戻しつつあります。

先月から学校が再開し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の制約はあるものの、子供たちは明るく日々の生活を送っています。先日は、地域学校協働本部事業の一つとして、地域コーディネーターを中心に、生徒会と連携して、職員玄関と生徒昇降口に「七夕飾り」をしていただきました。生徒、職員一人一人が「星(短冊)に願い」を込めました。



郡市中体連大会は中止となりましたが、管内での新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、どうか、郡市中体連関係者の尽力により、各部活動における3年生の練習成果を發揮できる舞台(「3年生スポーツ交流会」)の準備が整いつつあります。ただし、感染拡大防止策として、観客の制限等の拡大防止「申し合わせ5ヶ条」を厳守してもらいます。当日に向けて、生徒は、毎日、練習に汗を流し、澆刺としています。私たち教職員も授業や部活動の指導を通して、元気が出てきたところでした。

7月1日には、3年1組(担任:小森教諭)で、「子どもたちによるいじめ防止推進事業研究発表会」(11月16日)に向けた研究授業を行いました。



芦北教育事務所、芦北町教育委員会からの授業参観がありました。生徒は、「朝自習のルールづくり」について、相手の意見をしっかりと聴き受け止めた上で発言していました。授業後に、「学級内にしっとり感があつた。」と褒めていただきました。本校の生徒会スローガン「和喜相愛」を実行して、思いやりのある、いじめのない学級・学校を皆でつくっていきましょう。

また、この日は、

「論語集会」をリモートで行い、孔子の言葉に耳を傾け、一斉音読にも取り組みました。

このように、学校が、保護者や地域の方の支えにより、少しずつ日常を取り戻しつつあることを嬉しく思います。なお、感染症対策にともなうマスク着用や登校時の家庭での検温等につきましては、引き続き、警戒を緩めることなく、よろしくお願ひします。何かご相談があります時は、遠慮なく、学校に連絡をさせていただきます。



ホームページで情報発信「**芦北町立田浦中学校**」で検索を

芦北町では、論語教育に力を入れています。まちづくりの目標に「すべては21世紀を担う子供たちのために」を掲げ、「温故創新」が公教育の方向として示されています。6月の学校再開から、月に1回の「論語教育」が、担当者を輪番制にしながらスタートしました。